



大連市乳腺甲状腺診療学術交流会 招待講演

2015年11月1日

中国でも乳癌発生率が増加しており、その予防診断治療への対策が始まっています。日本の最先端の乳癌への取り組みを学びたいとの要請にて、中国大連医科大学にて講演致しました。

“相良病院における女性医療への取り組み” 相良病院 理事長 相良吉昭

患者さんの失望や疑問を希望や夢に変える医療を目指しています。乳癌の告知を受けた患者さんは、病気よりも子供の将来や家族のことを心配されるため、私たちは子供さんを含め患者さんを心理面で支援しています。又、適切な医療の確保を図るため離島医療も力を入れています。診療においても、これまでの実績を基にアジアの医療に貢献する No.1 の女性専門病院を目指すべく、2019年には女性医療のモデル病院を現在の敷地内に完成する予定です。

“遺伝性乳癌・卵巣癌症候群(HBOC)” 相良病院 副院長 馬場信一

米国の女優アンジェリーナジョリーさんが遺伝性乳癌で乳房と卵巣卵管を切除したことが話題になりました。日本人においても、遺伝子の一部に病的変異が生じると日本人の12人に1人の乳癌発症率が、6～12倍に増えます。日本人の年間の乳癌発生件数7万人のうち約1割は、家族集積性があります。相良病院では遺伝相談外来を行っており、乳癌の方が多い家系を見つけています。診療においても乳癌の家族歴に注目し、診断治療を行っています。

シーメンスヘルスケア 岡野晶彦

シーメンスでは乳癌を中心とした女性医療に注目しています。日本でも有数の乳癌手術を行っている相良病院をパートナーとして最新の診断システムの検討を行っています。最新鋭の装置も相良病院に導入してもらい最適化を図っていきます。例えば乳癌の硬さを計測できる超音波装置、乳房内の重なりあっている組織を診断しやすくするマンモグラフィ装置等、これらの装置を組み合わせ、最適な画像診断システムを検討していきます。

@中華人民共和国 大連市
人口600万人、仙台市と同じ緯度。満州鉄道本社社屋等が残り、日本が統括した時代もあり、美しい街並みです。明治時代の日露戦争で有名な二〇三高地、旅順が近くにあります。「小説アカシアの大連」日本企業も多く親日的な街です。



大連中心部

大連医科大学